

視線入力装置の活用

「視線入力装置」は、PCに取り付けると眼球の動きを読み取り、視線の動きだけでPC操作を可能にするもので、本校に3台導入されています。

本校には、視線入力で、文字入力やシンボル選択ができることを目指して、練習に取り組んでいる児童生徒がいます。視線を動かし、PC画面の文字盤の中から文字を選択して入力するためには、スムーズに視線を動かし、一定時間注視できるだけの「見る力」が必要となります。最終そこに目標を置きながら、練習に取り組んでいます。

また、見方のアセスメントとして活用している児童生徒も多くいます。“見方の特徴”を捉えることで、教科等への学習場面での配慮に役立てられます。そして、継続して視線入力装置で学習を行ったりすることで“見る力”が高まることがあります。

活用している子どもたちは、楽しそうに笑顔で楽しみながら学習を進めています。

